

【学校運営協議会資料】

令和3年度 堺東高等学校

第3回 学校運営協議会

ご提言・ご意見のまとめ

令和3年度 堺東高等学校第3回学校運営協議会が、1月28日に書面形式で開催されました。第3回の協議事項は、「今年度の最終報告について」「次年度の学校経営計画について」です。当日、各委員のご提言、ご意見の概略を以下のようにまとめました。

協議会委員

- 1 津田 謹輔 (帝塚山学院大学 学長)
- 2 田中 誠二 (堺市立晴美台中学校 校長)
- 3 遠藤 真砂美 (晴美台1丁北自治会)
- 4 森 繁樹 (本校同窓会長)
- 5 藤井 沙耶 (本校PTA会長)
- 6 高谷 翔平 ((株)ベネッセコーポレーション)

教職員

校長 教頭 事務長 首席 各分掌長 各委員長

【次第】

- 1 校長挨拶
- 2 校長より最終報告
- 3 各部より最終報告
- 4 次年度の学校経営計画について
- 5 協議

第3回テーマ

「今年度の取組みについて最終報告」

「次年度の取組みについて」

■校長より

- 本校は、9月の臨時休業後は感染者もなく、順調に授業を進められていましたが、1月になり感染者があり臨時休業を行いました。3年生は、後期期末テストも終わり、成績により卒業式を待つばかりとなっています。1, 2年生は、2月中旬から後期期末テストとなっています。
- 入学者選抜については、自立支援コースが2月17日、一般選抜が3月9日に実施となっています。堺東高校の良さを理解していただき、多くの中学生が志願してくれることを望んでいます。

■今年度の学校経営計画における最終報告について

□説明 ・ ■意見・質問

◇「今年度の学校経営計画における最終報告について、校長より説明

【 1、確かな学力の育成 】

(1) ア

授業改善については、授業公開、研究授業、管理職の授業観察などを通じて取り組んでまいりました。「教材活用」の肯定率は、目標の87%に届いており、3年間下降することなく、毎年向上しています。先生方の日ごろの頑張りを感じています。

授業についてアンケートを実施しています。

年2回実施し、後期については9項目の平均は「3.42」で昨年度「3.34」から上昇。教員の授業に関する項目も昨年度「3.35」から「3.42」へ上昇しています。

(1) イ

ICTの活用ができるよう50周年記念事業等も活用してプロジェクターの整備を行っていただき、生徒1人1台端末も配備され、今後も「主体的、対話的で深い学び」に取り組んでいきたいと思っています。また、学校教育自己診断「授業の工夫」の肯定率も94%と昨年度より上昇しております。

(2) ア、イ

プレゼン等の機会を作りコミュニケーション能力が身についたについては、65%から76%に向上。1, 2年生については、今年度から「総合的な探究の時間」について、ポスターを使ってのプレゼンテーションも実施しました。今後の3年間を見通した計画を作成し、相手の意見を聞いたり自分の考えを伝える場面を積極的に設定しました。

(3)

今年度から基礎学力定着に向け「ガシ高ドリル」を始めるとともに学校教育自己診断における「学習に頑張ってきた」の数値も上昇しております。

【 2、安全で安心な学校づくり 】

(1) ア

支援学校との交流については、新型コロナウイルス感染症予防の観点から中止し、お互いが訪問するのではなく、生徒会の生徒どうしでICTを活用しオンラインでの交流と工夫をしての実施となりました。昨年度は1回だけでしたが2回実施できました。今回の2回目は、クラスごとで交流をします。また、美術作品の交流も実施しています。

(1) イ

配慮を要する生徒の委員会も軌道に乗り、組織的に対応できています。入学から3年がたち卒業後の進学先も決定し、大学との配慮の方法等についての情報共有の場を設定しました。保護者にも大変喜んでいただきました。また、自立支援コース生徒の3年生については、新型コロナウイルスでなかなか実習ができない中、受け入れ先の理解もあり実習を行うことができました。

(2) ア

教員の人権関連項目の肯定率は、目標には達しませんでした。部落問題についても今年は取り上げました。今後も人権に関する研修の充実に取り組んでいきたいと思っています。

(2) イ

教育相談体制の充実については、「担任以外で相談できる先生がいる」の質問で肯定率が上昇。教育相談室(ホットコーナー)の周知も徐々に浸透してきています。昨年度より来室数が増加傾向にあり、今後も生徒に寄り添い対応していきたいと思っています。また、担任への生徒の相談や状況を生徒支援委員会へ繋ぎ、組織的に対応できて、福祉機関等との連携も行えています。

(2) ウ

いじめ対応肯定率も上昇しております。年2回のアンケートに基づき対応しています。

(3)

規範意識の醸成で「生徒指導上のルールを守っている」は93%で昨年より上昇。今後とも生徒にとって安全安心な学校づくりを教員一丸となっていくとともに、交通安全は本校教員が、ネット・SNS、薬物乱用防止については外部講師を招いて実施できました。

【 3、夢にチャレンジする積極的な生徒の育成 】

(1)

科目選択における進路選択満足度は、94%で目標達成。キャリア教育満足度についても90%を維持し目標を達成。今後も丁寧な説明等を通じて満足度向上をめざします。

(2)

クラブ加入率は若干低下した。入学当初に新型コロナウイルス感染症の関係でクラブ活動中止が続き、クラブを始めるきっかけがなくなったことは大きいと考えます。来年度は、クラブ活動の良さや楽しさを発信し、加入率を上げることができるようめざします。このような中、アーチェリー部、女子ハンドボール部が近畿大会への出場し、頑張ってくれました。

学校行事への積極的な参加の項目で「自主性を伸ばすことができた」の質問は、上昇。体育祭の2日分割開催、文化祭は1日の短縮となりましたが生徒たちは工夫を凝らして頑張りました。

(3)

学外活動への参加では、晴美台小学校との授業交流は、実施できましたが地域のイベントは軒並み中止となりボランティア活動はできませんでした。保育園と受け入れ可能なボランティア、また、本校生徒単独での学校周辺の地域清掃を実施しました。

【 4、開かれた学校づくりの推進と情報の発信 】

ブログと同時に緊急時のメールで新型コロナウイルス感染症での臨時休業や課題の連絡などを行い、緊急連絡手段を十分活用できました。また、ホームページの更新に努め、ミニ見学会、学校説明会ができない中、学校紹介動画を作成してホームページに載せるなどし、情報発信を充実させました。

◇「来年度の学校経営計画」について、校長より説明

令和4年度 学校経営計画について、学校運営協議会にて承認していただく事項となっております。

1 確かな学力の育成と授業改善

「主体的、対話的で深い学び」授業や一人1台のパソコン、ICTが活用できるようICT機器を充実してまいります。また、授業アンケートにおける「教科書、プリント、視聴覚教材、ICT 機器等を効果的に活用している」の教材活用満足度をさらに上げていきたいと考えています。これらを通じて生徒が授業で知識・技能等が身についたと実感できる授業をめざし、教員一丸となって授業改善を継続してまいります。

相手に自分の考えを伝えるでは、SDGsの視点も踏まえた「総合的な探究の時間」を実施し、国際的な視野にたてるグローバル人材の育成をめざしていきます。

2 安全で安心な学校づくり

これまでの規範意識の醸成を継続するとともに堺市と協議し通学路の安全確保についても前進させていくと同時に交通安全指導も併せて行い、地域とともに安全な交通環境を作りたいと思っています。

また、自立支援コースや配慮を必要とした生徒に寄り添った指導や支援学校との何らかの形での交流など、「ともに学びともに育つ」教育の実践を今後も充実できるよう頑張ってまいります。

3 夢にチャレンジする積極的な生徒の育成

生徒の進路実現に向けたキャリア教育を今後も継続して実施し学校行事、生徒会活動、部活動において達成感を味あわせるとともに、新型コロナウイルス感染症の影響がなくなればボランティア活動への参加も進めて、自己肯定感を育んでいきたいと考えています。

4 開かれた学校づくりの推進と情報の発信

ホームページの充実と学校説明会による情報発信により、堺東の良さを中学生等にアピールし、生徒募集の一助となるよう引き続き発信を続けていきます。

今後も堺東高校の応援団として学校運営協議会の委員の方々からの指導助言をいただき、「先生、『堺東』に来てよかったわ」と多くの生徒に言ってもらえるよう、よりよい学校づくりをめざしてまいりますので、よろしく願いいたします。

■各部からの説明と各委員からのご意見ご提言

□説明・■意見・質問

(3 学年)

3年生では、「夢に向かって」・「自立(自律)する」・「人にやさしく」をスローガンに掲げ、様々な場面で生徒が自主的・主体的に行動できる、学校のリーダーとなって欲しいと考え指導してきました。

「夢に向かって」・・・生徒一人ひとりが、自分の夢(進路)に向かって努力する環境づくりに努めました。進路カフェや自習室で夜遅くまで勉強に取り組む生徒、朝早くから講習に参加している生徒、コロナ禍で全体指導が難しい中、要所要所で集会を行い、進路指導を行ってきました。まだ、受験の続いている生徒もいますが、最後まで粘り強く頑張ってもらいたいと思います。いよいよ卒業を迎える時期ではありますが、これから社会という大きな世界で力強く羽ばたいて欲しいと願っています。

(2 学年)

今年も新型コロナウイルスに振り回される一年間でありました。ですが、生徒のアンケートでは、「来年は行事で思い出に残る学年にしたい」という声も多く、新3年生としてがんばってくれるのではないかと考えています。

10月の修学旅行は、最高の思い出となりました。幸いなことに9月末には、状況が落ち着きを見せ、他校で延期や中止といった話が出た中で、修学旅行を予定通りのスケジュールで実施できました。クラス別のアクティビティやファームビジットといった、大阪の日常生活では体験できないことを体験でき、満足度が非常に高いものとなりました。

(1 学年)

高校生活で大切にしたいこととして、「学習活動」「将来への進路計画」をあげている生徒が減少しており、授業・家庭学習・進路実現を自分事と捉えることの指導が急務の課題です。一方、「学校行事」をあげている生徒が多く、そのうち「体育祭」や「クラスマッチ」は良かったと回答しています。クラブ活動の加入率低下はデータを見るまでもなく、身をもって感じており、その分、充実した学校生活を送るカギとなる学校行事や学年・クラス運営について、生徒が積極的に取り組める内容にすることが求められていると考えます。

(総務部)

【オープンスクール】

11/13(土)に新型コロナウイルス感染症対策を踏まえて、以下の要領で実施した。

全体会では、学校紹介動画を見た後、1年生有志による学校生活の発表、教員による総合学科の説明を行った。生徒会の生徒が司会し、受付等は1年生やボランティア部員が担い、中学生約250人が参加した。

【合格者説明会】

新型コロナウイルス感染症対策の観点から、体育館での全体説明を取りやめ、2部形式で実施した。各教室に分かれて行き、その後の物品購入は、教室ごとに担当教員が案内する方式で行った。

(教務部)

休校措置になった時の対応（授業日数の回復、授業時数の確保など）について、管理職、各分掌と調整を行い、対応した1年であった。定期考査・成績処理について、ミスが起きないように注意喚起を行い、予防に努めた。定期的に教育課程委員会と教科会を実施し、新カリキュラム・観点別評価について議論し、また、校内研修でも取り上げるなど、全教員への周知を行ってきた。学外の学修の単位認定について、コロナのため昨年度実施されなかった高大連携講座やボランティア活動は、オンライン参加や一部受け入れがあったので、検定試験も含め本年度は実施できた。

(進路指導部)

48期生の進路状況（2021年12月末現在；254名回答）

- ・進路決定済み：161名（63.4%）
- ・進路未決定：93名（36.6%）

昨年47期生と比べると、12月末での進路決定済み生徒の数が4.3%（10名ほど）増加した。年内入試の合格者数の増加や、全国的な安全志向の影響で、本校でも年々年内で進路を決定する生徒が増加している。進路別で見ると、国公立大学希望者が減少し、短期大学希望者が増加した。その他専門学校や就職・公務員希望者の数は昨年とほぼ変わらない。関西有名私大への進学を考える場合は、低学年時からの進路意識が大切であることがわかる。

(生徒指導部)

12月までの懲戒は例年並みであった。

10月～12月の遅刻者は1,233名で昨年比92.2%であった。生徒指導部としての活動はコロナの影響を直接受けており、1年の交通安全指導・2年の薬物乱用防止教室が実施できた行事である。「コロナ不安」「コロナ感染の疑い（発熱・体調不良等）」と言えば遅刻・欠席等も出席停止になる事態に危機感を感じている。

(生徒会部)

【体育祭】

- ・生徒アンケート結果：楽しかった 92.3%（一昨年91.7%）
- ・延期を繰り返したが、6月末に何とか実施できた。暑い時期だったので二日間に分けたり、日よけを作ったり、PTAから飲み物を支給していただいたり、感染症対策だけでなく熱中症対策も必要であった。現在来年度の体育祭に向けて生徒会執行部の生徒と準備をしている。

【文化祭】

- ・文化祭アンケート結果：楽しかった 86.3%（昨年83.1%）
- ・急遽一日開催で行った。乗り物系の企画が多かった。有志企画もたくさん出た。例年作っている垂れ幕を今回は立体部分を含めた展示物という形で行った。各団体の個性が光っていた。来年度は一か所に集約して審査等できるようにしたい。飲食企画への要望が多数寄せられた。

(保健部)

- ・昨年度からの継続で、各教員が一日一回、各々の清掃分担区域の消毒を行った。
- ・昼休みに、生徒保健委員による、積極的に感染症対策を意識した行動をとるように注意喚起を促す全校一斉放送を行った。
- ・11月に、グラウンドに避難する従来の避難訓練を実施し、実際の避難経路の確認や避難時の集合隊形などを確認した。なお、6月の避難訓練は、教室で放送による訓練であった。
- ・昨年度中止だった、一年生への性教育講演会を体育館で実施した。(従来は視聴覚教室)
- ・濃厚接触者の特定を学校が担うことになってから、基本情報の収集や消毒箇所の特定制等にかかりの時間が費やされている。より、システマティックな対応ができる体制を整える必要があると考えている。

(人権教育委員会)

教職員向け研修1回目は「あらためてSDGsとは何か ～変革×人権×教育～」、2回目は「部落出身者の実態」というテーマで講演を実施しました。生徒向けの人権講演会は、いじめや国際問題、アパルトヘイトなどをテーマとしたFUNKIST 染谷西郷によるトーク&ライブをビッグアイで行いました。各学年での人権学習については、1年生は入学後すぐに「情報と人権」を、さらに外部講師を招いてインターネットの安全な使い方に関する講演を1月に実施しました。堺支援学校との交流会はオンラインで行い、障がい者体験を11月に実施しました。映画「めぐみ」(北朝鮮拉致問題)の上映は各教室のプロジェクターを使用して鑑賞しました。2年生は、高校生のための法律講座を10月に実施しました。例年実施している虐待防止プログラム講演は、昨年同様実施できず、今年度はNTTドコモから講師を招いて「スマホ・ケータイ人権教室」を実施しました。3年生は例年通り、就職と人権、HIV・エイズ防止教育を、外部講師を招いて実施しました。

(生徒支援委員会)

令和2年度に、相談室(ほっとコーナー)来室数が前年度の2倍に増えた。今年度も、年度当初からほっとコーナーを利用する生徒が多いことから、同様に昨年以上の利用数が見込まれる。今年度は、欠席が続く生徒やコロナ後遺症・コロナ不安等の配慮を要する生徒があり、現在も学校でできる対応を検討し支援を続けている。進路変更する生徒も今年度はやや多く、学校での学びや過ごし方の検討が喫緊の課題になっている。

(自立支援委員会)

今年度3年生3名が、事務職(特例子会社)、スーパーのバックヤード(障がい者枠)、自動車販売店洗車業務(障がい者枠)に内定が決まりました。実習にまじめに取り組み、自己理解を進めることでそれぞれが納得する進路となりました。

(探究・志学委員会)

7/14(木) 堺支援学校交流会(1)・・・1年交流委員・自立生・生徒会執行部がオンラインで実施
11/11(木) 障がい者理解講演とスポーツ体験・・・講師を招き、1年生全員が講演を聞き、車いす乗車とボッチャを体験、代表生徒による車いすバスケットボールを実施

11 月中 堺支援学校との美術作品交流…放課後実施

1/27(木) 堺支援学校交流会(2)…クラスごとで実施。発表やクイズ・ゲーム大会等実施。

(各委員からのご意見・ご提言)

○確かな学力の育成と授業改善について

■ICT 機器を活用した授業において引き続き工夫しながら基礎学力の向上に向けて頑張ってください。

■授業により差がありますが、もっと ICT を活用すれば良いのにと感じました。来期に期待しております。

■授業公開・研究授業・授業観察を通じた授業改善の取り組みはよいと感じました。これらの活動は生徒の授業理解度を高め、生徒一人ひとりの希望進路実現に向けて授業を工夫されている様子がわかります。

■Chromebook などの ICT を活用した授業や家庭学習がより浸透することで深い学びが実現でき、授業中での思考する時間が増えるものと思いますので、生徒の授業理解度がこれまで以上に高まることに期待したい。

○安全で安心な学校づくりについて

■18 歳から成人となることで契約行為などに保護者の取消権はなくなることによる不利益についても、今年度は専門家を呼んでの授業をしていたと記憶していますが、継続開催をぜひお願いいたします。

■ヤングケアラーが取り上げられる事が多くなっています。「きょうだい」と表記する障がい児者のきょうだいの対応も課題となっています。自立支援コースに在籍する生徒のきょうだいへの積極的な関わりをお願いします。合わせて、全ての生徒に少子高齢化の中、家族内で支えることが当たり前で、美德とならないような啓発についてお願いします。家族介護の為に、学業やクラブ活動、学校全体での行事への参加困難は、一人ひとりの生き方を大事にする事に対して矛盾しているといえます。人権の基本は個々を大切にする、生き方は自分で決める事が出来るという自己決定の大切さを教えていただければと思います。

○夢の実現にチャレンジする積極的な生徒の育成について

■コロナ禍においても学校行事をできる限り実施できていること、保護者との連絡を欠かさず安全安心に運営されていることはよい。「夢チャレンジ」については、今まで考えたこともないような課題への取り組みに対して、視野が広がるのが期待できます。今後も創意工夫のうえ、授業内容の改善が子どもたちの成長のうえで、大いに役立つことと思います。

■休校による予定変更の状況においても、学外の授業交流等が実施できたことは、とても良かったと思います。

■「夢チャレンジ」の取り組みを通して、物事の見え方や学ぶことの楽しさが実感できると思いますので、充実したキャリア教育にも期待したいと感じました